

様式第23（第26条関係）

先端設備等導入計画の変更に係る認定申請書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

三木市長 仲田 一彦 殿

住 所	〒〇〇〇-〇〇〇〇
名 称 及 び	兵庫県三木市〇〇1丁目2-3
代表者の氏名	株式会社〇〇製作所 代表取締役 〇〇 〇〇

令和〇〇年〇〇月〇〇日付けで認定を受けた先端設備等導入計画について、下記について別紙のとおり変更したいので、中小企業等経営強化法第53条第1項の規定に基づき申請します。

## 1. 変更事項

器具備品の追加

## 2. 変更事項の内容

新たに三次元測定器1台を導入する。

# 記載例

無断転載禁止

別紙

先端設備等導入計画

変更事項の内容は、  
変更前と変更後を対比して記載し、  
加筆・修正部分には下線を引くこと

## 1 名称等

1	事業者の氏名又は名称	株式会社〇〇製作所
2	代表者名（事業者が法人の場合）	代表取締役 〇〇〇〇
3	法人番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
4	資本金又は出資の額	〇, 〇〇〇万円
5	常時使用する従業員の数	〇〇人
6	主たる業種	【中分類】 31 輸送用機械器具製造業 【細分類】 3113 自動車部分品・附属品製造業

## 2 計画期間

令和7年11月～令和12年10月

## 3 現状認識

### ② 自社の事業概要

当社は、独立系の自動車部品製造業者である。独自の鍛造技術による高性能エンジン部品が主な製品であり、主に国内の大手自動車メーカーに販売している

### ② 自社の経営状況

当社は昭和47年1月に鋳物メーカーとして創業。その技術が認められ、自動車部品、特にエンジン関連部品の製造に携わることとなった。当初は鍛造品の製造のみであったが、現在は自社の鍛造品に対し機械加工・精密加工も行えるようになった。また当社は環境保全への対応を経営の重要項目と位置づけ、『環境にやさしい企業』になることを目指し、環境諸課題の継続的改善に積極的な取り組みも推進している。

当社の主要顧客は〇〇自動車系列の一次部品メーカーである〇〇株式会社で、創業当初からの付き合いであり、売り上げの8割を占めている。その他、自動車部品メーカー数社と取引がある。

当面は自動車生産台数の増加に伴い、部品の受注は増える見込みである。一方で従来型の内燃機関を搭載した自動車の販売台数は、将来的にピークアウトする可能性があるといわれているため、自動車部品事業を中核としつつも、EV関連部品の製造販売にも力を入れていく所存である。

当社の強みは、「技術力が高い」と「顧客の信頼が厚い」ことである。長年にわた

り培ってきた鑄造の技術と、それを可能とする専用の加工治具を多数揃えており、効率よく、また精度よく加工することができる。また、部品の出荷時には全数検査に対応可能で、部品の信頼性が高いと顧客から評価されている。

売上は令和6年3月90,000千円、令和7年3月期100,000千円と増加しており、営業利益についても令和6年3月期4,500千円、令和7年3月期6,000千円と増加している。

昨今の円安傾向により今後自動車の輸出が増加することが見込まれることに加え、提携先を活用した独自ルートにより海外販売先の開拓も進んでいることから、今後は輸出販売を中心に受注増が予想される一方で、海外部品メーカーとの競合が激化する見込みである。

この競争に勝ち抜くため、当社も継続した生産性の向上に取り組んでいく。

令和8年3月期においては回復基調となり、売上120,000千円、営業利益18,000千円となった。それでも目標としていた売上・利益には戻っておらず、更なる生産性の向上が必要となっている。

経営状況の近況を追記してください。

#### 4 先端設備等導入の内容

##### (1) 事業の内容及び実施時期

###### ①具体的な取組内容

既存の設備は老朽化が進んだ結果、歩留まり率が悪化している。また、生産量の限界も近いことから、今般の受注拡大や競合メーカーとの競争力強化を図るために、最新の生産設備への入替えを計画している。

具体的には最新のプレス機械を導入する。これにより生産ラインを刷新し、歩留まり率の改善による製造原価の低減や、生産量の拡大による売上の向上を図り、当社の強みである高性能エンジン部品の国際競争力を強化する。

併せて生産ラインの空調設備も刷新する。これにより既存機種からエネルギー効率が上がることで光熱費の改善が見込める。

最新プレス機械の導入と合わせ、測定機器も購入する。これにより既存レンジよりも高い精度での測定が可能となり、高精度の部品製造を受注することが可能となる。検査スピードも向上するため、製造原価の低減にも寄与する。

また新たに測定時間の短縮と幾何測定の内製化を図るため、プローブ型の三次元測定器1台を導入する。従来の測定精度は5 $\mu$ mであるが、新しい測定器を導入することにより、測定精度は1.8 $\mu$ mに向上する。また、熟練工以外の従業員であっても検査にばらつきがなく、高い精度で測定できる体制が構築できる。さらに、測定時間が20分/点かかっていたものが、5分/点に短縮することが見込める。当社では250点/月測定しているため、全測定時間83.3時間が20.8時間に短縮できるため、作業コストが1/4に低減できると見込まれる。

## ②将来の展望

新たな設備の導入により、生産能力の向上を見込む。最新の設備へと変わること  
で、担当者の熟練度によるばらつきも抑えることができるため、限られた人員でよ  
り多く生産できる体制を構築することでき、生産性の向上を実現できる。

具体的には最新のプレス機械の導入による生産ラインの刷新と検査スピードの  
向上により、年間20%の生産能力の向上を見込んでいる。過年度実績より、当社  
の生産能力の限界により逃していた注文があったため、正常品完成量の増加分は販売  
可能な数量と考えている。よって、本件設備投資による売上高増加見込額は25,108  
千円を見込んでいる。

また売上原価については、新規設備への切り替えによる販売増加見込数量分の差  
額原価として12,554千円を見込んでいる。一方で原価改善効果は、新設設備への  
切り替えにより精度の高い加工が可能になることから、現在の不良発生率5%程度  
から、1%程度まで改善可能と見込んでいる。これより、新規設備における予想仕損  
費発生額は既存設備利用時の実績の5分の1の金額と見積もり、仕損費発生額の減  
少見込みを3,600千円と見込んだ。また、設備導入による光熱費の改善効果として  
500千円を、修繕費の改善効果を200千円見込んでいる。よって、売上原価につい  
ては合計で8,254千円の増加と見込んでいる。

売上高と売上原価の変化より営業利益の増加は15,854千円と算出した。

なお、設備投資後の投資計画期間において、当該売上高、原価低減効果はそのま  
ま継続すると考えている。

新たに三次元測定器1台を導入することにより、測定精度が約3倍に向上するこ  
とに加えて、測定時間が1/4に短縮するため、作業コストの低減と納期短縮による  
生産性の向上が期待できる。

「①具体的な取組内容」欄は、実際に先端設備等を導入し、行う取組の内  
容について、なぜ導入する必要があるのか、何を導入するのか、導入する  
とどうなるか、を具体的に記載してください。

その際には取組を行う業種についても併せて記載ください。市区町村が策  
定する基本計画における業種等の限定については、当該内容で判断される  
こととなります。

「②将来の展望」欄は、先端設備等導入による効果についてを具体的に  
記載してください。特に、生産力向上の度合いは根拠の概要を具体的数  
値と併せて記載してください。

# 記載例

無断転載禁止

これらより、設備導入後の当社の売上・営業利益・労働生産性は下記のとおり見込んでいる。

実績数値が出たら  
それを記載

売上・営業利益・労働生産性の見込 (単位：千円)

	直近実績	1年目 (実績)	2年目	3年目
	R7/3月期	R8/3月期	R9/3月期	R10/3月期
売上	100,000	<u>120,000</u>	125,108	125,108
営業利益	6,000	<u>18,000</u>	21,854	21,854
人件費	81,000	81,000	81,000	81,000
減価償却費	3,000	4,000	<u>4,500</u>	<u>4,500</u>
付加価値	90,000	106,854	106,854	106,854
従業員数	18	18	18	18
労働生産性	5,000	<u>5,722</u>	<u>5,964</u>	<u>5,964</u>

変更後の数値に更新

(2) 先端設備等の導入による労働生産性向上の目標

変更後の数値に更新

現状 (A)	計画終了時の目標 (B)	伸び率 (B - A) / A
5,000 千円	<u>5,964</u> 千円	<u>19.3%</u>

# 記載例

無断転載禁止

## (3) 先端設備等の種類及び導入時期

	設備等名／型式	導入時期	所在地
1	プレス機器／PR123-45	令和7年12月	三木市〇〇1-2-3
2	空調設備／HM4321	令和7年12月	三木市〇〇1-2-3
3	測定機器／FR21-2	令和8年3月	三木市〇〇1-2-3
4	<u>三次元測定器</u> <u>/ EXCEL500</u>	<u>令和8年10月</u>	<u>三木市〇〇1-2-3</u>
5		年 月	

	設備等の種類	単価 (千円)	数量	金額 (千円)	備考
1	機械装置	40,000	1	40,000	
2	建物附属設備	15,000	1	15,000	
3	器具備品	<u>50,000</u>	<u>2</u>	<u>50,000</u>	
4					
5					

	設備等の種類	数量	金額 (千円)
設備等の種類別 小計	機械装置	1	40,000
	建物附属設備	1	15,000
	器具備品	<u>2</u>	<u>50,000</u>
合計		<u>4</u>	<u>105,000</u>

## 5 先端設備等導入に必要な資金の額及びその調達方法

用途・用途	資金調達方法	金額 (千円)
先端設備等購入資金	補助金	10,000
先端設備等購入資金	融資 (〇〇銀行)	80,000
先端設備等購入資金	自己資金	<u>15,000</u>

## 6 雇用に関する事項

令和7年度(令和7年4月1日～令和8年3月31日の当社事業年度)において、雇用者給与等支給額を令和6事業年度と比較して1.5%以上増加させる方針を策定し、同方針について、令和7年10月10日に従業員代表の賃上 太郎に対して表明した。

※賃上げ方針を計画内に位置付けることができるのは新規申請時のみです。  
変更申請時に賃上げ方針を計画内に追加することはできません。